

昭和49年度及び昭和50年度事業主要報告

事務局長 小林 博之

1. 新研究所及び環境放射能分析室完成

(財)日本船舶振興会からの補助金を主軸として、市内東区松香台1丁目218番地(元香椎病院内)に新研究所を完成いたし昨年5月12日に開設稼動に至りました。なお環境放射能分析研究室は本年2月21日に完成し、開業運転は本年4月1日予定であります。

2. 第2期理事選任

第7回定期理事会(S50.5.30)において、第2期(昭和50.4.1から昭和53年3月31日まで)の理事を別記の方々に御就任いただきました。

3. 業務報告

- (1) 昭和49年度は、環境影響事前評価(環境アセスメント)事業が受託されたこともあって、分析及び測定関係の伸びが、前年度比の58%増となっております。
- (2) 特別調査は、芦屋町環境調査を初めとする約30件を数えております。
- (3) 昭和50年度上半期は、移転作業のため業績の伸びは停滞しましたが、後半アセスメント及びダム調査関係の業務を混え繁忙となりました。

4. 昭和50年度事業大綱

- (1) 環境影響事前評価業務及び中小企業向け排水、廃棄物処理方法の研究調査。
 - (2) 環境放射能分析室の完成。
- の2点が力点項目となっており、第3、4半期現在順調に進捗しております。

昭和50年度環境放射能分析室建設並びに機器整備事業について

前理事会にて本件事業計画案の決定を得ましたが、本年度は、その実行期に入りました。

事業目的 原子力の平和的利用に関し、環境保全を図る目的で、環境放射能分析室の建設並びに分析機器の整備

建設場所 福岡市東区松香台1丁目218番地(現協会住所)

面積 127.50㎡

構造 鉄筋コンクリート造平家建

工事及び機器整備期間

建物 昭和50年6月から昭和51年2月まで

機器 昭和50年8月から昭和51年2月まで

資金 総工事費 77,915千円

補助金 62,300千円

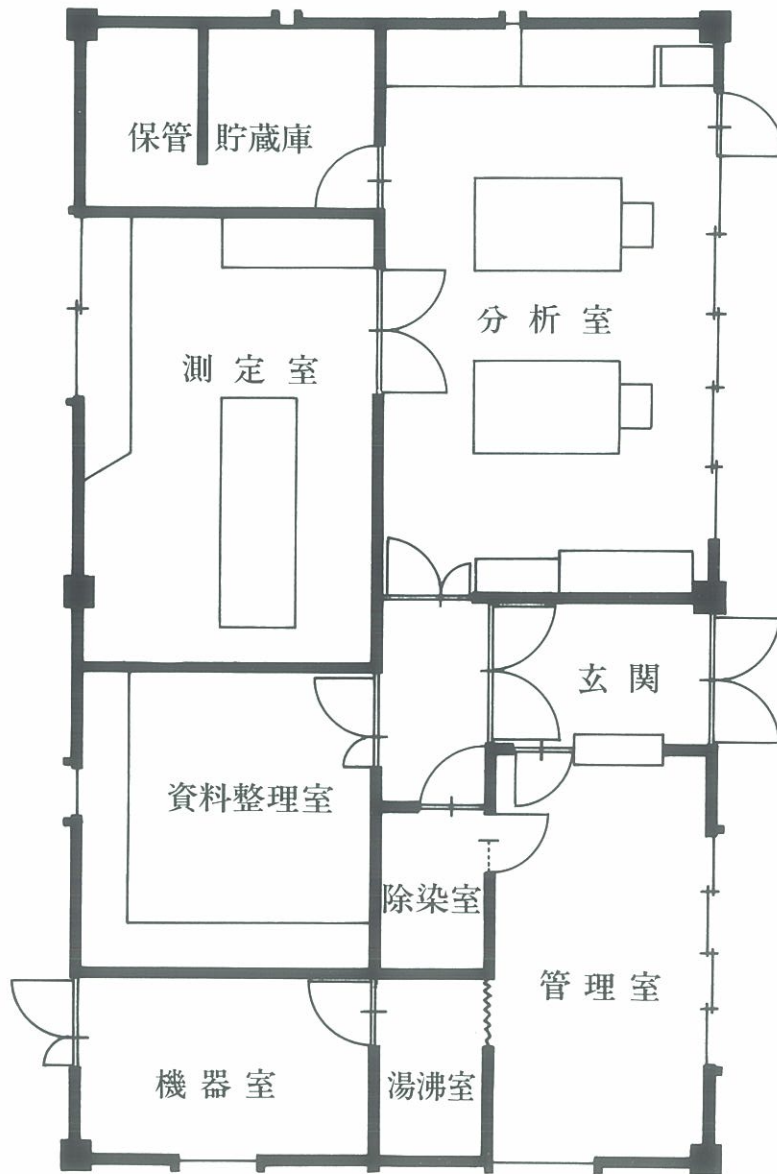
(財・日本船舶振興会)

自己資金 15,615千円

購 入 機 器

部 門 別	機 器 名	数 量
放射能分析	低バックグラウンド 液体シンチレーションシステムLSC-LBI	一 式
"	低バックグラウンド 自動測定装置 LBC-452U	"
"	シンチレーション 自動測定装置 JDC-851	"
"	ウエルシンチレーション 測定装置 JDC-701	"
"	ラジオ液体 クロマトグラフ RLC-611	"
"	日立ガスクロマトグラフ 163形	"
"	電子式上皿直示天秤 形式PT-1200形 スイス製	"
"	電離箱サーベイメータ JCS-151	"
"	GMサーベイメータ TGS-113	"
"	シンチレーションサーベイメータ TCS-121C	"
"	日立分光光度計 100-21形	"
"	RI廃棄物容器 (可燃物用)	一 台
"	" (不燃物用)	"
"	RI廃液容器	"
"	GM測定装置	一 式
"	シリコン半導体検出器	"
"	超音波細胞破壊器	"
"	放射性塵埃除去装置 TH980	"
"	プロポーショナルアルファ線自動測定装置	"
"	ポリトロン	"
"	熱蛍光線量計	"
"	日立油回転真空ポンプ 5VP-CG型	一 台
計	22 基	

環境放射能分析室



1 階 平 面 図